

3 アートコミュニケーションプロジェクト

リニューアルオープンを機に岐阜県美術館がめざす「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」基本理念の実現にむけて、ともに活動するのがアートコミュニケーターである。アートから生まれるコミュニケーションを大切に、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に「アートの縁」を編んでいく。

新たに設けたアートコミュニケーターズルームにはアートコミュニケーターたちの拠点をおき、美の楽しみかたを生み出す場として機能していく。

3-1 ナンヤローネフォーラム

「あたらしい場をつくろう—岐阜におけるアートコミュニケーターの可能性」

2019/8/17【土】 平成30年度

アートコミュニケーションプロジェクトを立ち上げるにあたり、新たな価値や関係を社会にひろげ、新しい場をつくっていくアートコミュニケーターの可能性を考えるプレフォーラムを開催した。アートコミュニケーターの活動理念や事例についての紹介や、伊藤達矢氏、日比野克彦館長、学芸員と対談を行い、時には参加者の声を交えながら、岐阜においてどのように実現していくか、思いを共有した。また、岐阜県美術館におけるアートコミュニケーターの愛称「～ながラー」や応募要項を発表した。

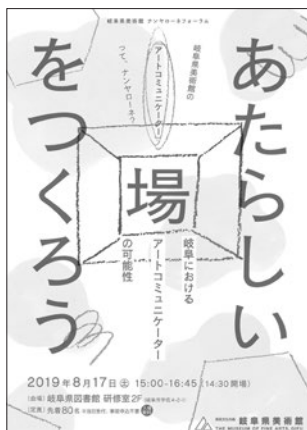
概要

会場：岐阜県図書館 2階研修室(岐阜市)

参加料：無料

ゲスト：伊藤達矢氏(東京藝術大学美術学部特任准教授、とびろプロジェクト/Museum Startあいうえのプロジェクトマネージャ)

参加者数：87人



3-2 年間の取り組み

2018/12 - 2019/3 【基礎づくり】

先行取り組み地域の調査・ヒアリング、館内外ディスカッション。事業のアウトラインを検討・提案。全体スケジュール作成。

2019/4 - 2019/6 【考える・シミュレーション】

リニューアル後のミッションが「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」に決定。特設Webページ作成、プロジェクトの理念を話し合い、告知を始める。美術館サポーターとの整理を行う。

2019/7 - 2019/10 【広げる】

アートコミュニケーションを「川・水のはたらき」に模した図を制作。募集チラシ制作・リリース。サポーターへの説明を行う。改めてアートコミュニケーションに特化したWebページを開設。8月17日にプレフォーラムを開催。

2019/11 - 2020/1 【始める・共有】

11月3日「楽美初日」で、アートコミュニケーターズルームにて募集相談会・ワークショップを行う。

11/3(日)～12/13(金)募集(消印有効)

12/25(水)一次選考結果発送(書類選考)

1/17～19(金～日)二次選考(面接)

1月25日頃結果発送

2020/2 - 2020/3 【関係づくり・場を設定】

2/29(土)第1回基礎ゼミ(延期) テーマ:オリエンテーション

3/14(土)第2回基礎ゼミ(延期) テーマ:「きく力」、この指とまれ式/そこにいる人が全て式/解散設定

3/22(日)第3回基礎ゼミ(延期) テーマ:2020年の美術館について

3/22(日)番外編基礎ゼミ(延期) テーマ:アートコミュニケーターズルームの《微分帖》による交流の場づくりにむけて体験会



2019年8月17日 ナンヤローネフォーラム